

令和6年度 第2回 久留米市総合教育会議

令和7年1月23日
15:00～(45分程度)

次 第

1 開会

2 市長挨拶

3 議題

- ① 小学校の統合について
 - －小学校校長との意見交換－
 - 城島小学校：城後校長
 - 青峰小学校：三栗野校長

- ② 部活動の地域移行の取組について

4 閉会

未来を生きる子どもたちのために

子どもの減少による久留米市の学校教育

令和7年1月
久留米市教育委員会

変革の時代の中で、子どもたちがたくましく生き抜く力を育むために 一定の集団規模が確保された教育環境が求められています

予測困難な、変化が激しい時代を生き抜くには、多様な価値観を持つ人と一緒になって、意見を出し合い、尊重しながら、解決策を見出す力が必要です

学習指導要領では、これからの時代を見すえ、子どもたちが主体的に、協働して学び合う教育の導入が進められています

「令和の答申」がとらえる“変革の時代”

○予測困難な時代

・新型コロナウイルス感染症、ロシアのウクライナ侵略、中東情勢にともなう国際環境の変化、自然災害など

○社会の在り方が「非連続」に劇的に変わる時代

・携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、電気自動車など

○先端技術が産業や社会生活に取り入れられる時代

・人工知能 (AI)、ビッグデータ、ロボティクスなど

○デジタルやICTが時代を性格づける

・“変革の時代”の主役はICT

※ 文部科学省 中央教育審議会答申(令和3年1月)



人口の急速な減少と少子化の中、全ての子どもたちが**より良い教育環境**で学べるように、**全学年でクラス替えができる**学校規模をめざして**小学校の統合に取り組んでいます**

子どもたちのメリット

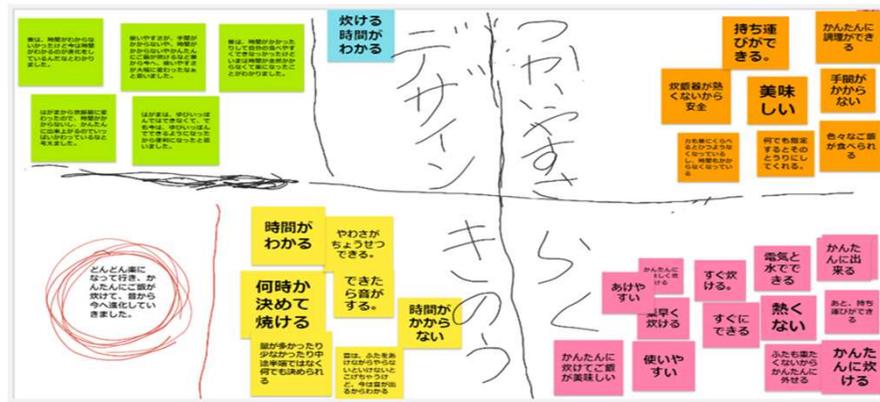
クラス替えで、新しい**人間関係づくり・集団同士の関係づくり**を学べる環境になり、多様な価値観に触れるようになります。
また、**人間関係の固定化が避けられる**環境となります。

学校運営のメリット

同じ学年に複数の担任が配置され、担任同士で**相談・協力**できるようになります。
また、**授業準備や事務の分担**、**交換授業**などの**工夫**もできるようになります。

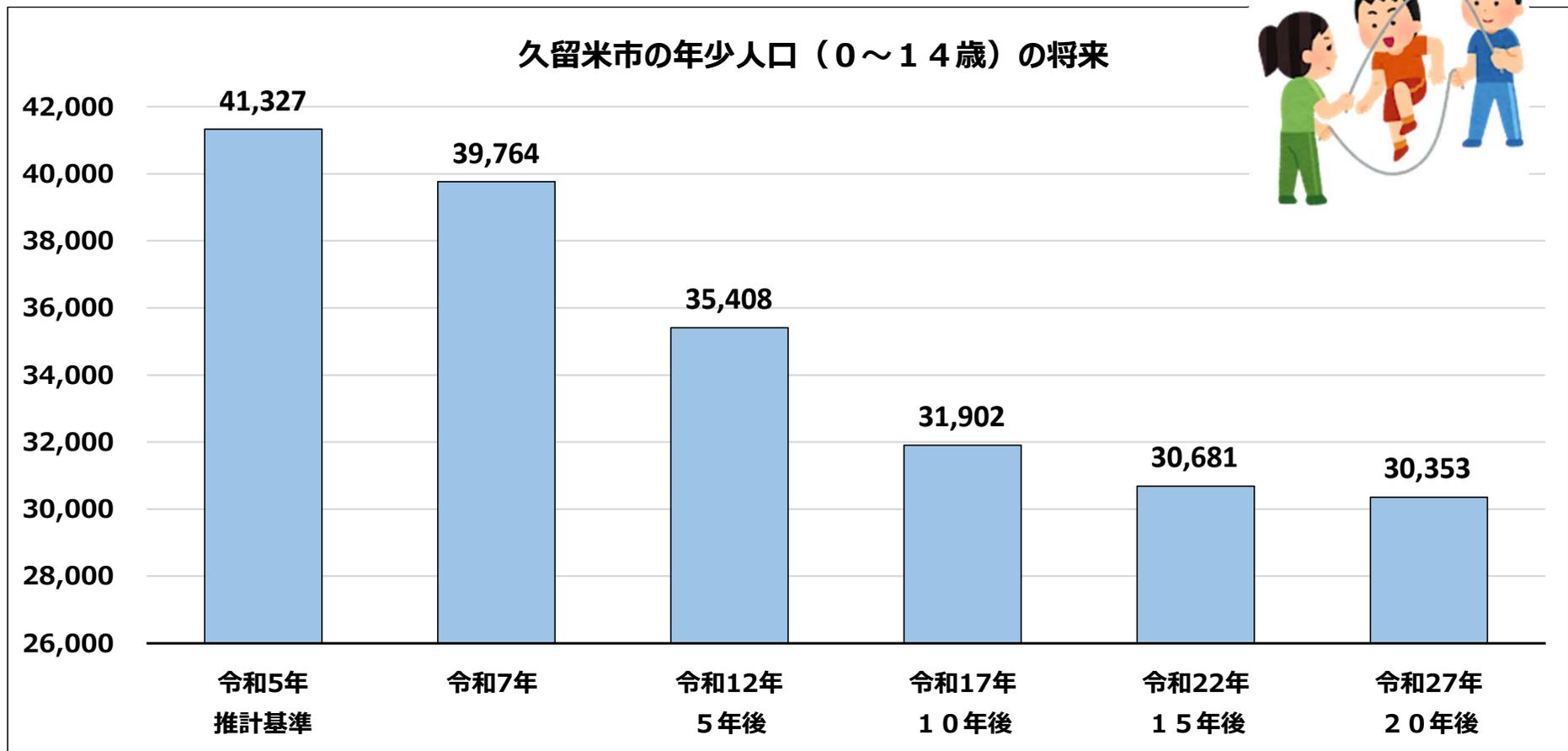


実験結果をもとにグループで話し合う理科の授業

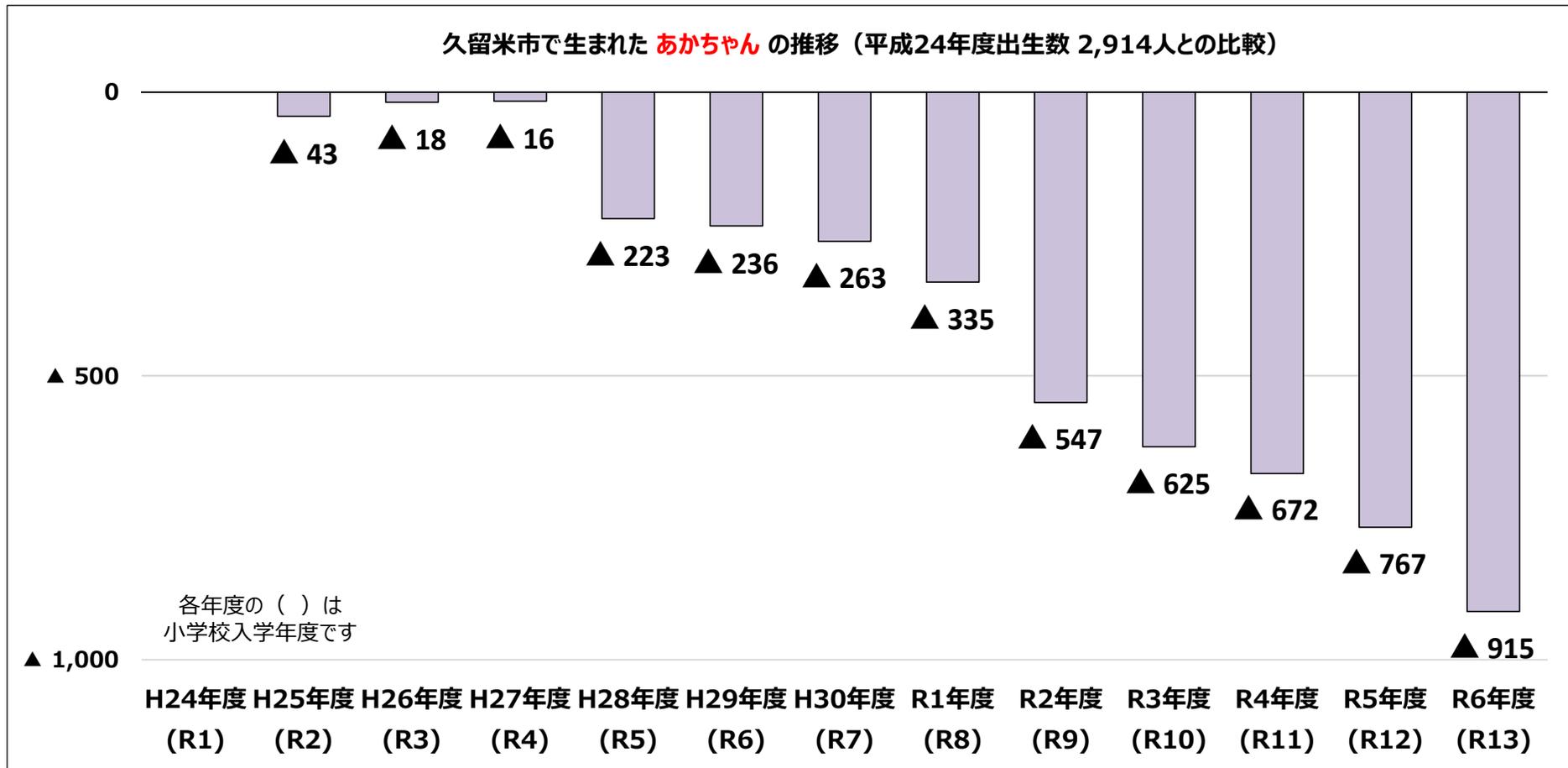


多様な意見や見方をもとに、考えを深めていく協働的な学びの授業

久留米市の子ども的人数は、およそ**20年後に1万1000人減少**します
子ども**3.8人につき1人が減る**こととなります



子どもが1万1000人減ると、市立小中学校約17校分に相当します
市立小中学校の3校に1校分以上がなくなる計算です



* 久留米市次期総合計画策定に向けた基礎調査報告書による令和5年度の年少人口（0～14歳）に占める小学生の割合（41%）及び中学生の割合（19%）に基づき、令和37年と比較した年少人口の減少分を按分したうえで、令和6年度の小中学校の平均児童生徒数（小378人・中456人）で除して算定しています。
* グラフ中、令和6年度の出生数は、2000人を割り込む可能性が高いため、便宜上1,999人として算定しています。

老朽化した小学校を全て建て替えると、**39年間、1050億円**かかります

国が補助金を厳しくする中、市全体で統合や小中一貫教育を進めることにより
14年短い25年間、420億円少ない630億円で、すべての小学生が新しい校舎で学べます

市立小学校の学校規模別の老朽度（令和12年度時点）

	旧々耐震基準 (S45以前)	旧耐震基準 (S46～55)	新耐震基準 (S56～)	合計
過大規模校				
大規模校	4校			4校
標準規模校	10校	5校	4校	19校
小規模校	6校	9校	3校	18校
過小規模校		1校	1校	2校
合計	20校	15校	8校	43校

* 学校内で最も古い校舎の築年数で記載しています



コンクリートの劣化



防水層の破れ・めくれ



雨漏り



古い和式・タイル敷トイレ



はがれた床



モルタルの剥落



老朽した木製建具

* 改築等に1校あたり30億円、事業期間を設計2年・工事3年の5年間と仮定（実際は資材や人件費の上昇による経費増、建物の解体を含む段階的な改築等による長期化がある）し、1年に1校ずつ設計に着手する想定です。

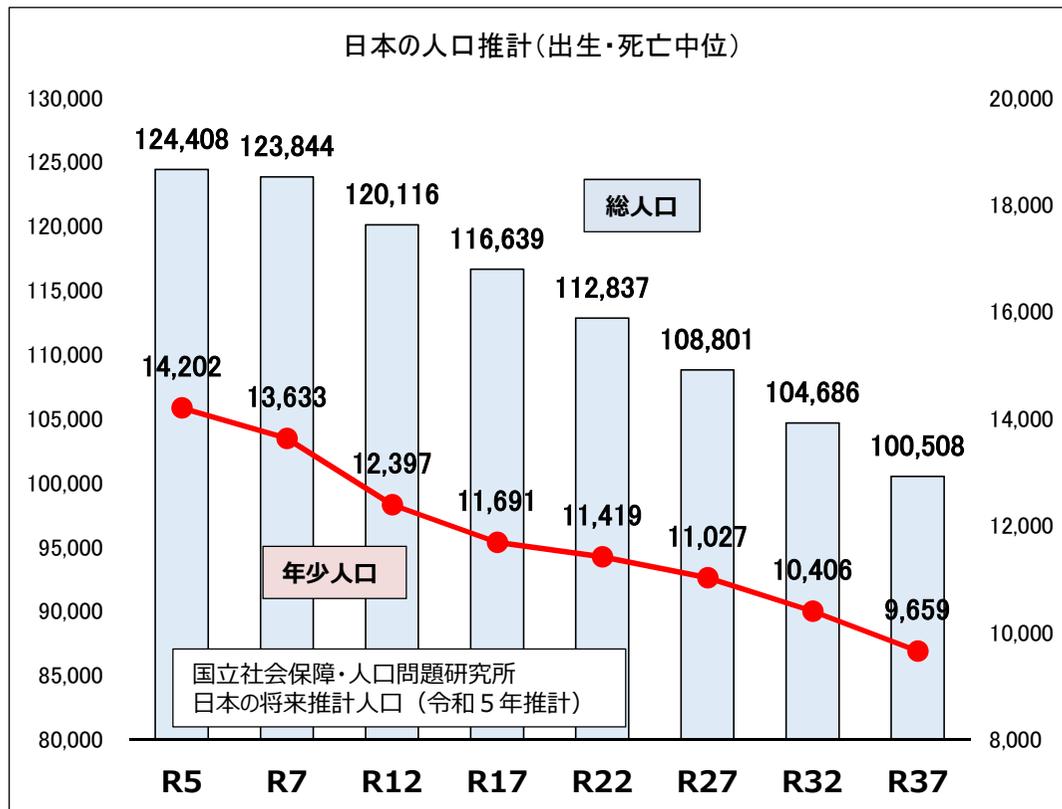
* 学校規模を問わず、旧々耐震基準の建物を有する学校・旧耐震基準の建物を有する学校の計35校を改築対象とする場合と、旧々耐震基準の建物を有する標準規模以上の学校・旧耐震基準の建物を有する標準規模以上の学校・全小学校が小規模以下になる検討対象エリア2校の計21校を改築対象とする場合を比較しました。

人口の急速な減少と少子化は、国全体の大きな流れです

「いつか増えるだろう」と少子化を先送りするのではなく、**少子化に向き合い**
少子化でも続く学校にして、**次の世代にバトンを渡す**のが私たちの責務です

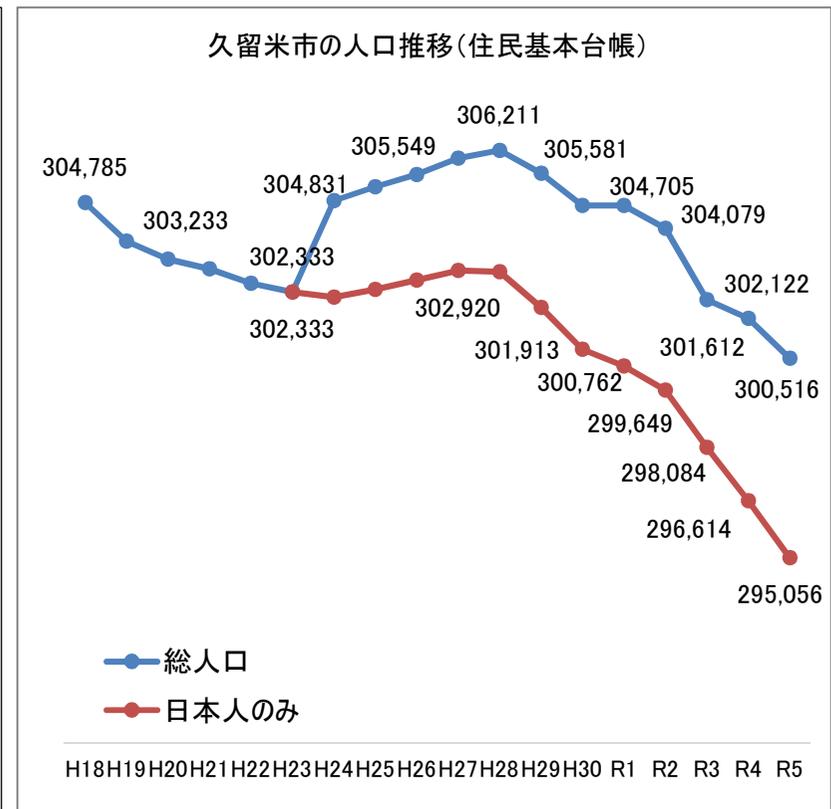
国全体

およそ30年後のわが国の人口は、**1億人割れ寸前**
年少人口（0～14歳）は、**1000万人を割り込む**



久留米

令和5年度までの7年間で約**5700人減**
特に令和2→3年度はコロナ禍で約**2000人減**





わたしたち大人が
未来を生きる子どもたちのために
今が考えるときです



年月	内容
令和3年4月	下田小学校、浮島小学校と城島小学校が統合
令和7年4月	青峰小学校と高良内小学校が統合
令和8年3月	三井中央高等学校が閉校
令和8年4月	大橋小学校と善導寺小学校が統合
未定	青木小学校、江上小学校と城島小学校の統合（協議予定）
未定	屏水エリアの義務教育学校の新設（協議予定）

城島小学校 統合後の状況アンケート結果（概要）

1 アンケートの目的

下田小・浮島小・城島小の統合から3年が経過した児童や保護者の状況を把握し、今後の小学校統合の取組へ活かすもの

2 アンケートの対象

- (1) 5・6年生の児童（統合した時の2・3年生）
- (2) 5・6年生の保護者
- (3) 教職員（統合から現在まで継続して勤務する者）

3 実施時期

令和6年9月17日～30日（回答任意）

4 児童の回答

(1) 回答率

	配布枚数	回答枚数	うち下田・浮島	回収率
5年生	45枚	41枚	5枚	91.1%
6年生	46枚	44枚	7枚	95.6%
合計	91枚	85枚	12枚	93.4%

(2) 概要

<p>よかったこと</p> <p>嬉しかったこと</p>	<p>① ほとんどの児童が「友だちが増えた」と回答しました。</p> <p>② 統合前の城島小児童 「下田・浮島のことを詳しく知ることができた」「城島のよいところも教えることができて楽しい」等の回答がありました。</p> <p>③ 統合前の下田・浮島小児童 「話す人が増えて嬉しい」「同性の友だちが増えた」「いろんな人の意見が聞けるようになった」等の回答がありました。</p>
<p>困ったこと</p> <p>不安や不満に思ったこと</p>	<p>① 8割以上の児童（69人）は「特にない」と回答しました。</p> <p>② 「友だちができるかどうか不安だった」という回答が統合前の下田・浮島・城島小児童からありました。</p> <p>③ 統合前の下田・浮島小児童 「人数が多くなったから話しにくいし、誘いにくい」「同じ学校の子とクラスが離れた」という回答がありました。</p>
<p>その他</p>	<p>① 統合してよかった</p> <p>② 毎日が楽しい</p> <p>③ 下田小の方がよかった。でも城島小に通っているけど、とても楽しくて、みんなと遊べるので楽しいです</p> <p>④ 友だちできるかなとあまり話せなかったけど、今は友達と楽しくおしゃべりができて、とてもよかった</p>

5 保護者の回答

(1) 回答率

	配布枚数	回答枚数	うち下田・浮島	回収率
5年生	45枚	21枚	4枚	46.7%
6年生	46枚	24枚	3枚	52.2%
合計	91枚	45枚	7枚	49.5%

(2) 概要

よかった などプラス 面の回答	<ul style="list-style-type: none"> ① 子どもたちの交流が深まってよいと感じている ② お互いに大変良い刺激になったのではないか ③ 中学校から一緒にな友達と早く出会うことができたのはよかった ④ 人数が増えて2クラスになったことがよかった ⑤ 人数が多くなったぶん、いろいろな意見や考え方を聞くことができる ⑥ もめごともあるようだが、いろいろな性格だったり考え方があってということも学んでいる ⑦ 結果的に統合してプラスになったことが多いことには違いはないと思える
気になる点 などマイナス 面の回答	<ul style="list-style-type: none"> ① バスが出る影響なのか、下校時間が早く時間に余裕がない気がする。休み時間も短くなったと聞く ② バス通学で一緒に登下校する友達が限られてしまうのは少し残念に感じられる ③ 学校までの距離が遠い ④ 新しい環境にとまどったり、なじみにくさを感じるお子さんも一定数いたのではないか。心のケアが最重要だと考えます
その他	<ul style="list-style-type: none"> ① 全地区でバスが出るとよい ② 城島校区で祭などのイベントがある時だけでも、子どもだけでも乗れるコミュニティバスなどがあれば、もっと気軽に子ども同士で遊びやすいのではないか

6 教職員の回答

(1) 回答率

配布枚数	回答枚数	回収率
5枚	5枚	100%

(2) 概要

よかったこと	<p>児童に関すること</p> <p>① 少人数のよさもあると思いますが、人間関係の広がりなどがあり、友だちが増えたことはよかったと思う。</p> <p>② 子どもたちが「いろんな校区に友だちが増えた」と喜ぶ姿を何度も見た</p> <p>③ 友だちが増え、いろいろな考え方の友達と交流でき、見方・考え方が豊かになった</p> <p>④ 競争心が生まれ、自分の力を伸ばそうとする姿が見られるようになった。たくましくなった</p> <p>⑤ 教師に対する依存心が少なくなった</p> <p>⑥ 下田や浮島の子どもたちが、大人数の中で交流したり発表したりすることがだんだん上手になっていたように感じた</p> <p>学校・教職員に関すること</p> <p>① 人数が増えたことで、体育でゲームをしたり、競争したりできて教育活動の幅が広がった</p>
課題や変更になったこと	<p>① 保護者との距離が遠くなった</p> <p>② スクールバスの下校時刻が決まっているので、帰りの会は時間に追われる</p> <p>③ 少人数だからこそその地域の方と一体となった体験活動が多かったが、統合して少なくなった</p> <p>④ 小規模校として一人ひとりが主役になれる授業づくりができていたし、一輪車など学校としての特色もあったが、統合したことでそのよさはなくなったように思う</p>
スクールバスの運行	<p>① バスの出発時刻が決まっているので、下校時刻を守ることを気を付けている</p> <p>② バスを利用している児童への乗車中（バスの乗り方や運転手へのマナー等）の指導</p>
その他	<p>① 統合後も下田や浮島でお祭りなどもあっていて、子ども同士のつながりも感じるのでもいいと思います</p>

総合教育会議

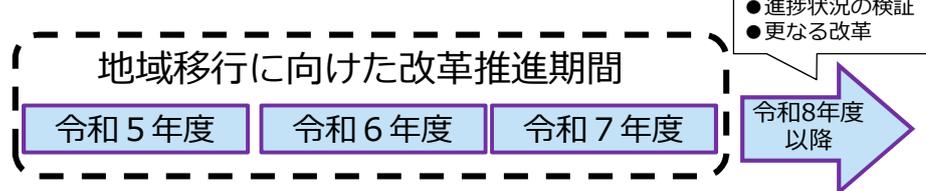
くるめ地域クラブ活動プロジェクト 取組状況について (休日の部活動の地域移行)

久留米市教育委員会 学校教育課

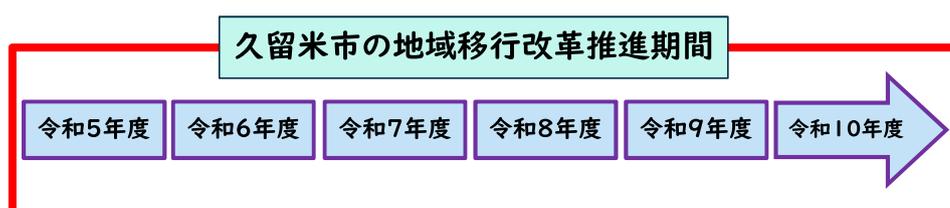
1

「休日の学校単位での部活動」から「休日の地域クラブ活動」へ

【国・県の改革推進期間(休日の部活動)】



【久留米市の改革推進期間(休日の部活動)】



2

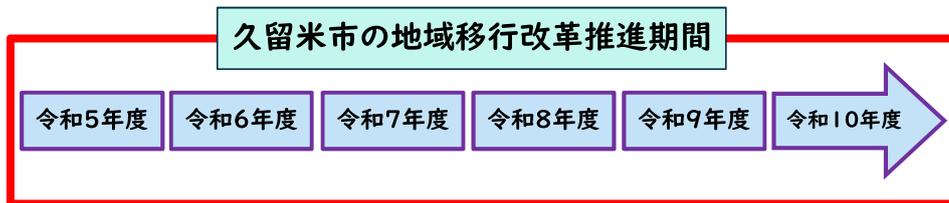
「休日の学校単位での部活動」から「休日の地域クラブ活動」へ

【国の新たな方針】

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ 令和6年12月

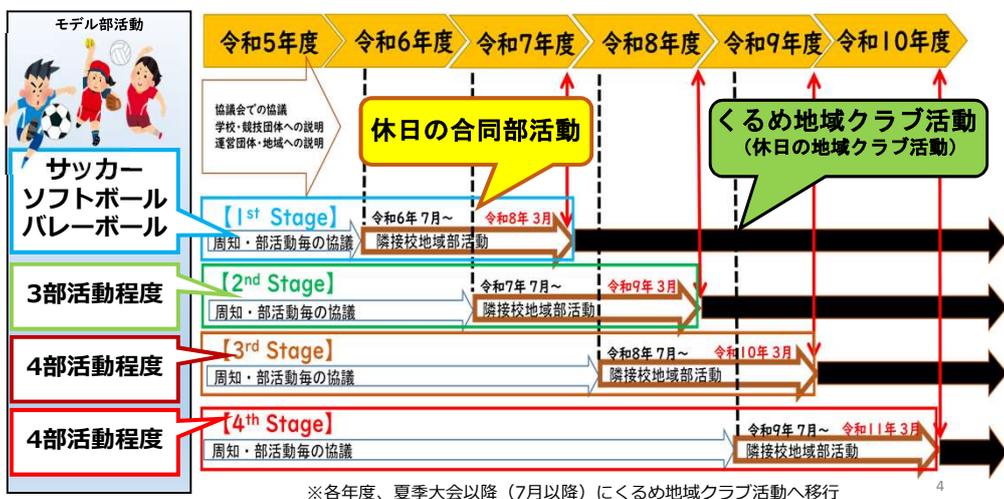


【久留米市の改革推進期間（休日の部活動）】

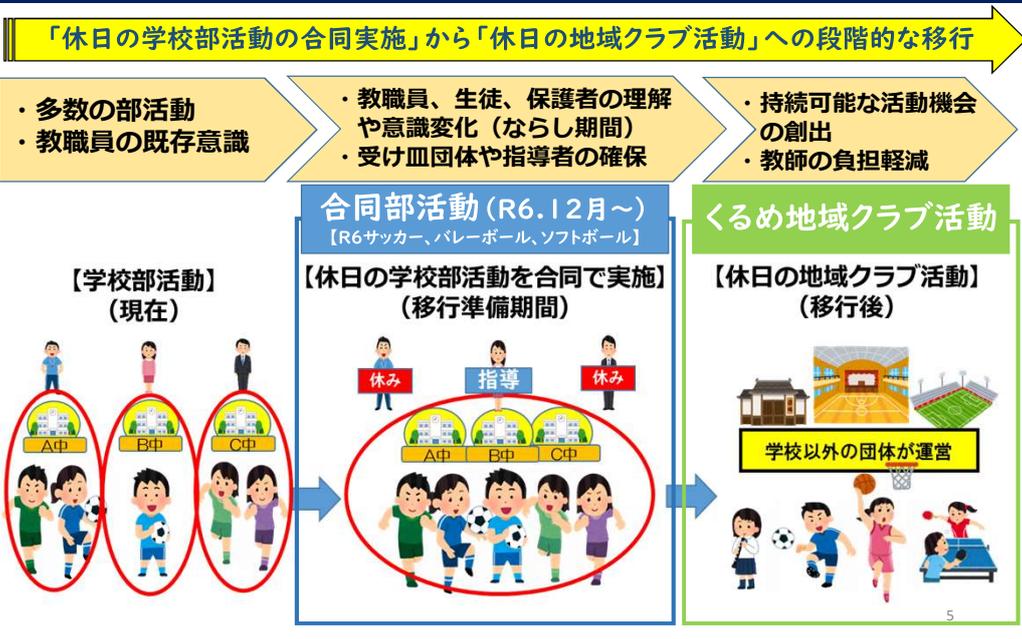


くるめ地域クラブ活動プロジェクト（休日の部活動地域移行）の概要

令和6年度より「サッカー」「ソフトボール」「バレーボール（男女）」で合同部活動を実施して、地域移行を開始しました。



くるめ地域クラブ活動プロジェクト(休日の部活動地域移行)の概要



これまでの取組について

- (1)部活動地域移行ガイダンスの実施
- (2)モデル部活動顧問による合同顧問会議の実施
- (3)合同部活動の実施
- (4)部活動地域移行の受け皿整備について

合同部活動について

サッカー

- ・隣接校や現在の合同チーム、顧問の専門性を考慮
- ・市内を4グループに分けて実施
(活動場所が確保できる学校を各グループに1つ以上配置)

ソフトボール

- ・市内全体(5校)で合同練習等を実施
- ※次年度に部員数等に応じてグルーピングを再検討

男子バレーボール

- ・4校合同で行う形と希望制で行う形の2パターン実施

女子バレーボール

- ・隣接校や顧問の専門性、グループ内での活動の自由度を考慮
- ・市内を4グループに分けて実施

7

合同部活動の様子(男子バレーボール) | 回目

練習試合の様子



合同部活動の様子 (男子バレーボール) 2回目

ポジションごとの練習



合同部活動アンケート (生徒)

男子バレーボール

- 他のチームと交流したり、互いに高め合うことができてよかった。月1回じゃなくて、月2でもいいと思う。
- 久しぶりにいろいろなチームと練習試合ができたのでよかった。
- (人数が多く、試合に出る機会が少ないので) 1年生も参加できるゲームをしたい。
- (試合だけでなく) 1時間程度の練習をする時間がほしい。

合同部活動アンケート(生徒)

女子バレーボール

- 人数が多いからこそできる練習内容が増えたりすることで、たくさんの学びを得ることができた。
- 学校で受けることのない刺激があって、もっとバレーをしたいと思える。専門的なことを教えてもらえるからとてもやりやすい。
- 他のチームと交流できることはいいけど、練習内容は自分たちだけの練習の方がいい。
- 自転車で移動だったのでとても大変だし、けがしたときあぶない。

11

合同部活動の様子(サッカー)



12

合同部活動アンケート(生徒)

サッカー

- ほかの中学校の人と仲良くなれるようになりたい。
- 人口芝でサッカーができて良かった。
- ● ゲスト指導者等がいればいつもと違う感じで良い刺激になるのかなと思いました。
- 多くの頻度でやらなくて良い。
- 移動が大変だった。

13

合同部活動アンケート(保護者)

サッカー

- 学校のグラウンドが使えるようになっても広さと他の部活動との関係で思うように練習が出来ないのが現実です。今日のように思う存分練習と他校と試合形式のゲームが出来る事は子供達にとっても良い活動だと思います。
- 送迎のみして活動見学ができていないため、子どもの話を聞きました。他校と試合形式の練習ができたことがとても楽しかったそうです。

14

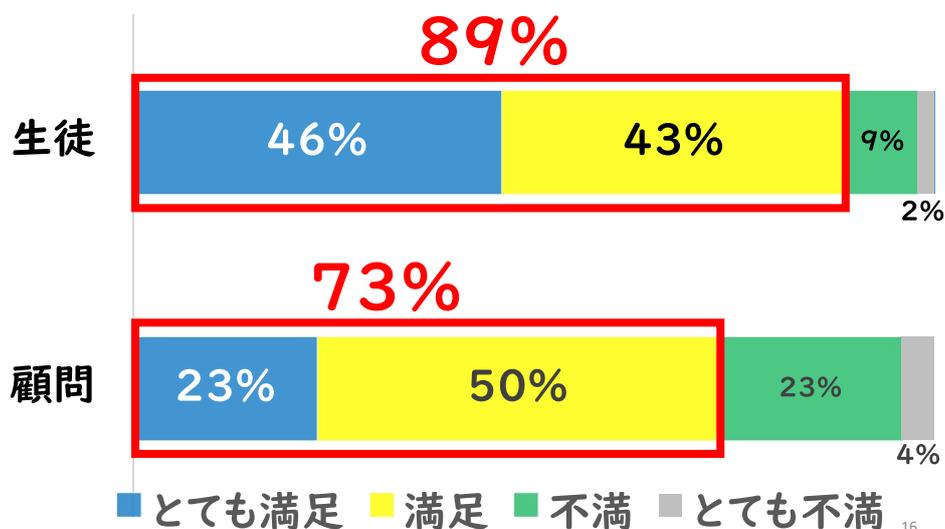
合同部活動アンケート(顧問)

- 専門的な指導やポジションごとに指導を受けられて生徒にとってはとても良い経験になり、練習に対する意識の向上にもつながる。
- 選手同士の交流や、教員同士の交流の場になった。
- 生徒それぞれのレベルが違い、練習になる子とならない子に差ができる。
- 場所の確保やスケジュール調整、練習メニューの共有が難しい。

15

合同部活動アンケートから

合同部活動の満足度



16

(4)部活動地域移行の受け皿整備について

現在の部活動に近い活動機会の確保を目指し、
久留米市の強みである市内に7つある総合型地域
スポーツクラブを対象に検討を進める。

それに加えて、

○スポーツ少年団やスポーツ協会加盟団体

○教員による新設クラブ等

も併せて検討を進める。